

2009年4月16日(木)

「青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社」  
設立記念フォーラム

ご紹介いただきました、理事長の松澤でございます。この度は、Aogaku Hicon の名誉会長を、務める事となりました。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。この新会社設立記念フォーラムにご来場いただきました、皆様、また来賓の方々に青山学院を代表して、心からのお礼を申し上げます。

私や青山学院の法人、大学執行部の一同は、代表取締役社長になられた玉木先生から、昨年の夏にはじめて、“Aogaku Hicon”（青学ハイコン）の事業構想をお聞きしました。その際、これがこれからの青山学院、そして社会に貢献する大学の姿として、次世代に向けて教育機関が取り組むべき新たなビジネスモデルだと、賛同いたしました。

特に“Aogaku Hicon”の設立趣旨にありますように、企業や社会の皆様や、本学や連携各大学の教職員の方々、そして何よりも学生たちが、このような企業活動に実際に参画して、社会ニーズを先取りする仕事に従事しながら、共に生きた学び合う場づくりをめざすことにあります。つまり、「Collaborative Learning Workplace “Aogaku Hicon”」の構想の実現をするために、青山学院と一心同体となってこの新会社を創りあげたいと念願しておりました。

さらに、青山学院の卒業生からなる「青山学院校友会」からは、原進会長ならびに薦田副会長のリーダーシップのもとに、全面的なご協力をいただけることにもなりました。このことにより、この“Aogaku Hicon”を、現役学生と卒業生が、一丸となってこの会社を創りあげていこうということになり、先のビジネスモデルの実現可能性が一層高まりました。

そのような意味から、本日のフォーラムに、卒業生であります、日本ヒューレット・パッカー株式会社 代表取締役社長 小出伸一様に基調講演をいただけたことは、大きな意義があり、ありがたく感謝申し上げます。

先ほど、杉村佐壽常務理事がご紹介させていただいたように、青山学院のスクール・モットーは、「地の塩、世の光」となる人材の養成であります。実は、“Aogaku Hicon”が目指す人材育成も、このスクール・モットーに対照していると思っております。

すなわち、まず「地の塩」に当たる「次世代経営」のリーダー養成であります。次に、世界の人々と共に活動するためには「世の光」となる人材が必要であり、そのためにも「国際社会」を導いてくれるリーダーの養成が、これからの日本に不可欠なのだと思います。そのような意味から、“Aogaku Hicon”が、これらの人材開発を柱として据えたことは、青山学院のミッションにもつながると考えております。

以上、述べてきました経緯から考えますと、本日の会社設立記念フォーラムが開催された、2009年4月16日は、青山学院にとってまさに記念すべき日となり、歴史が刻まれた日となりました。ご参加いただいた皆様は、この日に立ち会ってくださった大切な方々だと思います。誠にありがとうございます。